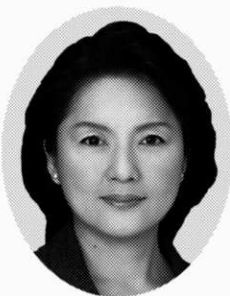


被災地の復興・復旧



東日本大震災から間もな
く半年になります。
被災地では多くの方が仮
設住宅に入居され、津波で
甚大な被害を受けた漁港や
市場も一部で再開がはじま
っています。しかし水揚げ
高は以前の何十分の1、た

くさんの人が働いていた加
工場も、魚を保存するため
の製氷工場もまだありませ
ん。本格的な復旧

・復興への道のり
はまだまだこれか

らです。市町村や地域によ
って、課題や進捗状況が異
なっており、個別のきめ細

現場で知恵出し合い必死に働く

やかな対応が必要です。

そこで公明党は、長期戦
に備え、党本部として被災
県・市町村ごとに責任をも
って被災地の復興・復旧に
取り組む体制を作りまし
た。7月24日には私も参加

させていただき、宮城県の
現地合同会議が開催されま
した。

何度でも繰り返し訪問

し、膝を突き合わせてお話
を伺い、現場を見て一緒に
知恵を出し合い、それを実
現するために国や県に粘り
強く掛け合って、復興にむ
けて現場で必死に働く。こ

れこそが公明党議員の使命
と決め、時間をこじあけて
毎週のように被災地に通っ
ています。

し船置き場もない。まさに
“ないない尽くし”の中で、
被災された皆さまは立ち上
がろうとされています。
仕事があれば生活がで
きません。将来も見通せま
せん。まずは仕事が再開で
きるよう、漁港の

応急復旧工事の実
現めざして絡んだ
糸をほどくように、規制や
手続きの壁、資金の壁、さ
まざまな問題一つ一つに
粘り強く取り組んでいま
す。

家を失い、再建するにも
土地がない、仕事を失い、漁
業を再開するにも船は流さ
れ、漁港も壊れて地盤沈下

小さくても希望の灯りを
広げるために、真剣に働い
ていきます。

